

ICT施工の最前線を体験！来年度開通予定の現場から学生へ！

～建設業の魅力を未来の担い手に届けるため、行政と業界が協力してICT技術を紹介～



国道155号豊田南バイパスの工事現場において
学生を対象とした工事現場の見学会（第4回）を開催します
（全5回を予定）

【第4回開催概要】

日 時：令和7年10月31日（金）
9：30～14：00（2部制 午前：現場見学会/午後：意見交換会）

参加者：愛知工業大学（社会基盤学科 16名）

【添付資料】 別紙1 見学会位置図
別紙2 今後の見学会予定
別紙3 見学会のイメージ

【取材申込】 取材を希望される方は、10月29日（水）15時までに
右記QRコードまたはURLにて、お申し込みください。



取材申込
（※10/29）

<https://forms.office.com/r/yTpyy1f4hb>

- ◆主催：中部建設青年会議 愛知県支部
- ◆協力：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所

“建設業って実際どうなの？”に若手が答える！
現場直送Q&Aセッション



現場見学会の様子



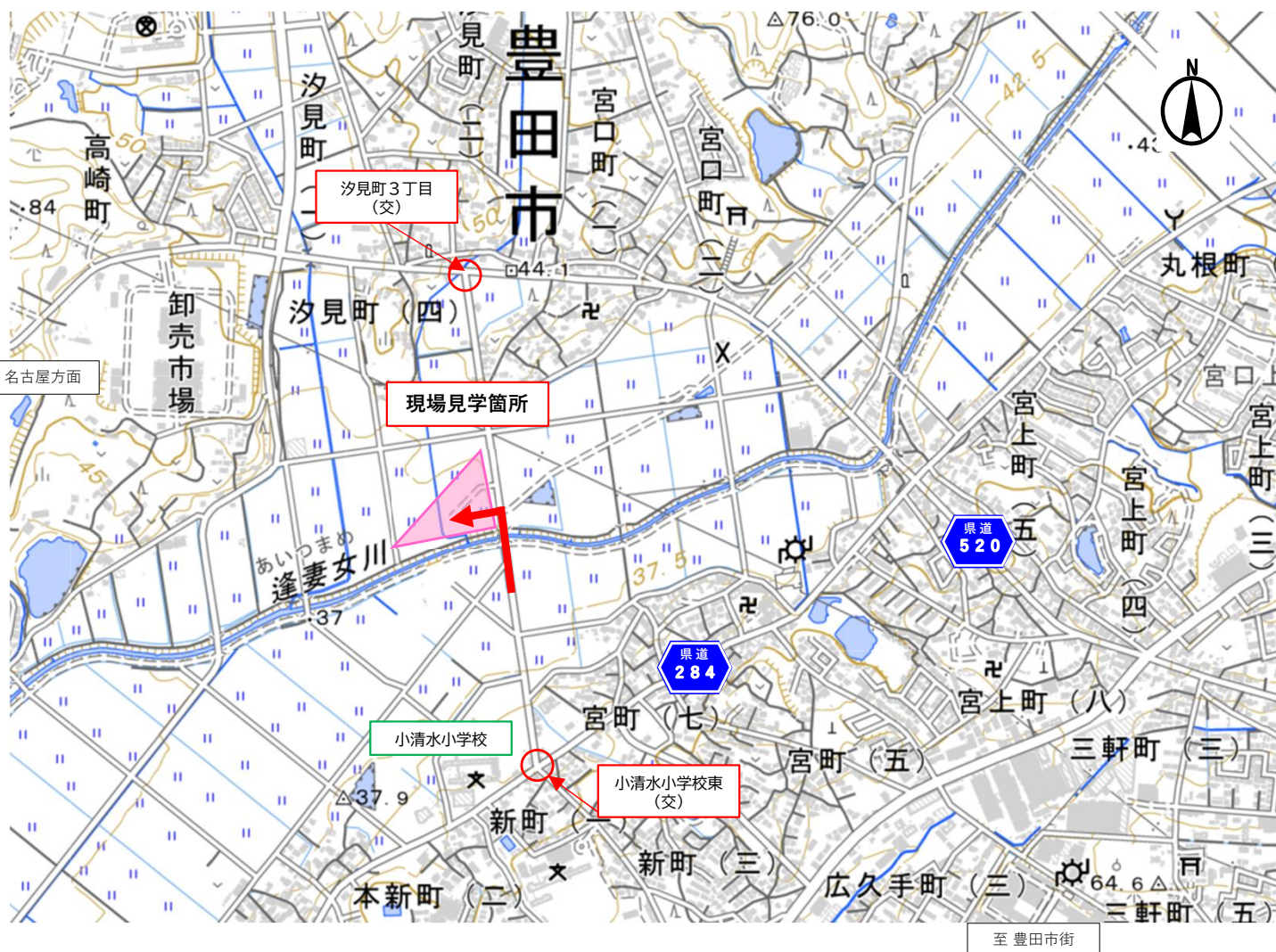
重機も測量もデジタル化！
ICTで変わる“未来の工事現場”を公開

**記者発表クラブ**

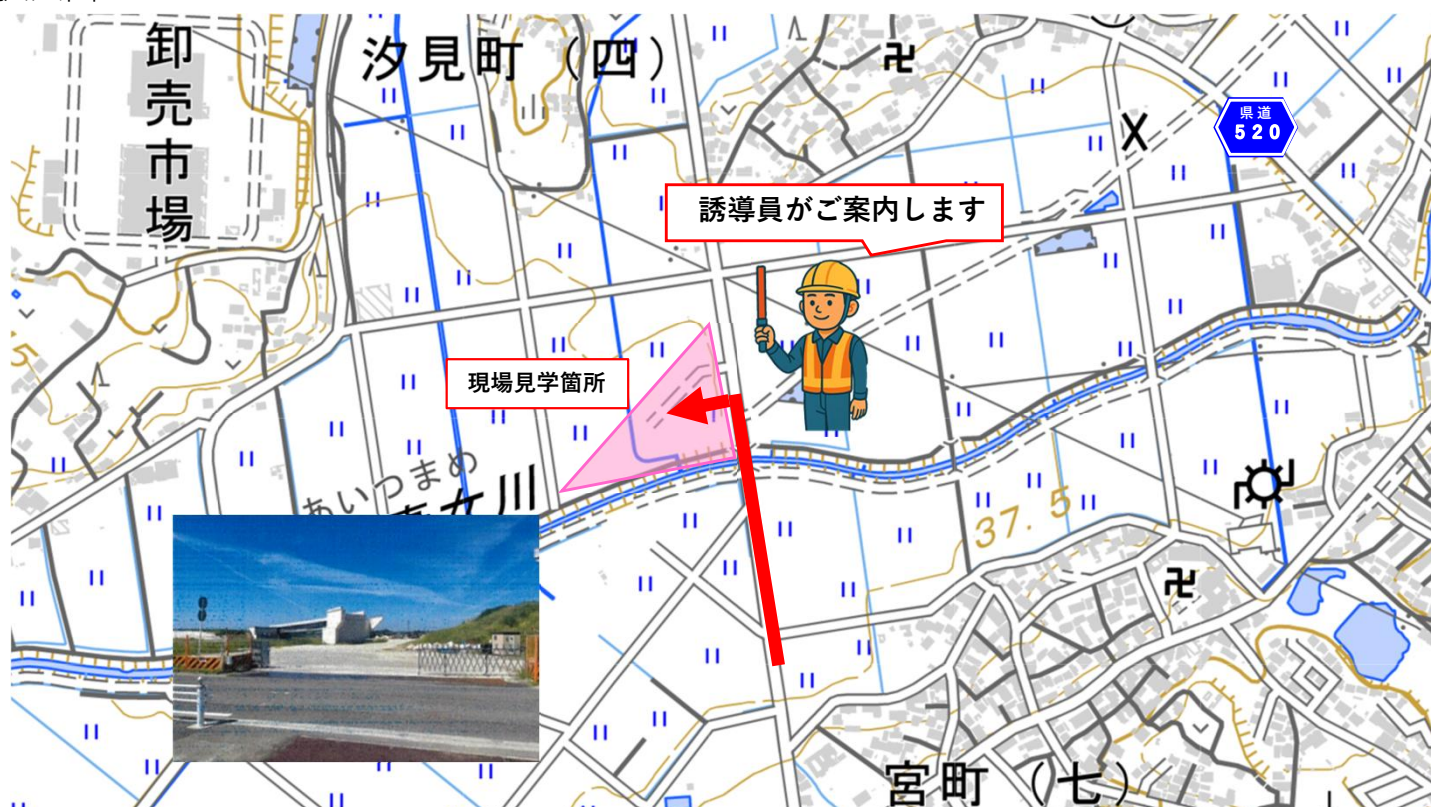
中部地方整備局記者クラブ、豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ

問合せ先

- 主催（現場見学会、座談会等に関する事）
中部建設青年会議 愛知県支部 電話：052-242-4191
事務局長 永井 謙二（ながい けんじ）
- 協力（国道155号 豊田南バイパスに関する事）
国土交通省中部地方整備局 名四国道事務所 電話：052-823-7917
副所長 和田 春樹（わだ はるき） 計画課長 中川 達也（なかがわ たつや）



拡大図



今後の見学会予定

開催日（予定）	時 間	参 加 者	参加人数	その他
第1回 令和7年9月22日（月）	2部制 ①10:00～11:00 ②11:30～12:30 開催済み	大同大学 建築学部建築学科都市空間インフラ専攻 2～3年生	14名程度	2部制 ①現場見学 ②意見交換会
第2回 令和7年9月25日（木）	2部制 ①10:00～11:00 ②11:30～12:30 開催済み	豊田工業高等専門学校 環境都市工学部1年生	43名程度	2部制 ①現場見学 ②意見交換会
第3回 令和7年9月26日（金）	2部制 ①10:00～11:00 ②11:30～12:30 開催済み	東海工業専門学校 土木工学科・測量設計科1年生	40名程度	2部制 ①現場見学 ②意見交換会
第4回 令和7年10月31日（金）	2部制 ①9:30～11:00 ②12:30～14:00	愛知工業大学 社会基盤学科	16名程度	2部制 ①現場見学 ②意見交換会
第5回 令和7年12月8日（月）	調整中	中部大学 調整中	60名程度	

※上記の予定は天候および工事状況により、内容が変更となる場合があります。

産×官×学でつながる！ 未来を担う学生と建設業を支える人々とのクロストーク！

建設現場の最前線で働く技術者が学生の不安や疑問にまるごとお答えします！
座談会、交流会には産・官の若手技術者が参加します！！



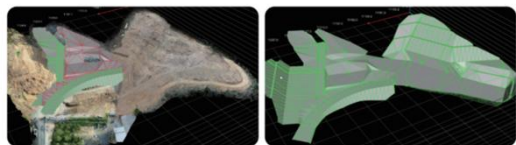
最先端の道路工事を“体験”！ICT施工で進化する現場を公開！

豊田南バイパスの工事現場では、ICT施工を活用した“次世代型”の道路づくりが進行中。
ドローン測量やICTで動く建設機械など、デジタル技術を駆使した現場は、まさに建設業のDX最前線！
さらに、現場では若手や女性技術者がICTの力を活かして活躍中。
「建設業って、こんなにスマートで働きやすいの？」という驚きの声も。現場見学では、技術者からリアルな声が聞けるチャンスも。“見るだけじゃない、感じる建設DX”をぜひ体感してください！

道路工事におけるDX

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術に社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指します。

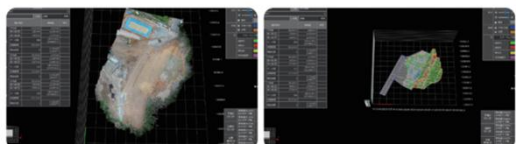
ドローンの技術



最近では、ドローンを使って測量(山の形を測る)を行い、工事する場所を3D化して工事をします。工事完成の3Dモデルをパソコンで作って、建設重機へデータを送ります。



重機がどこまで掘っていいか、どんな形に掘るのかを自動で認識してくれます。何の目印もなくとも、きれいに掘ることができます。



上手に掘れたのかの確認も、ドローンによる計測で行います。

AR・拡張現実の技術

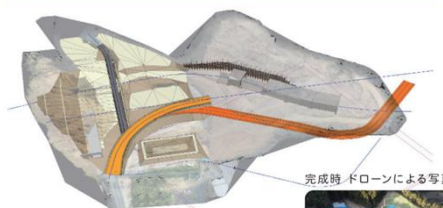


ゲームに使われている技術で、工事現場でも活用しています。何もない場所にARでクレーン車を出現させられます。

まだ工事中でも、ARで完成の状況を確認して、みんなに「こんな道路ができるよ」と伝えることもできます。



デジタルツインの技術



完成時 ドローンによる写真

パソコン上で実際に工事を行うかのように3Dモデルを作成していき、施工時の不具合を前もって認識することができます。



※工事現場によって導入しているICT施工の種類が異なります。